

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「主権在客」の理念を元にその人らしく暮らしていくよう支援していきます</p> <p>○</p>	
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>「主権在客」の理念を元に利用者様が安心して穏やかに生活できる事を一番に願い声に出されない心の声を聞こうと努力しています</p> <p>○</p>	その日、その時、利用者様の状態にあった対応ができる様職員同士の意識レベルが高められる様カンファレンスを必要に応じ実践している
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>ようざん一座を結成し認知症への理解に取り組んでいる</p> <p>○</p>	要望があれば出張して寸劇で認知症のケアを理解していただけるよう努めています
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩等で声をかけ合っています。立ち寄って下さる方もいます。畑でとれた野菜も頂きます。</p> <p>○</p>	近くの銀行で利用者の作品を展示してと依頼があり展示しました。大好評でした。年に2~3回行う予定です。
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>年に1度敬老祭を行い家族や地域の方を招待して楽しんで頂いています。演芸をして下さる方もボランティアの方で多勢の参加があります。</p> <p>○</p>	職員で結成したようざん一座が認知症を理解して頂けるよう寸劇を行っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	見学者、その家族等の悩みなども聞いた時、相談があれば話し合いをし、支援していきます	○	左同じ
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	質の向上に努める	○	諸々の勉強会等に参加
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方、家族の方の積極的な意見を参考にし利用者の実際の様子も見て頂き可能なサービスができるよう努力している	○	施設の見学や会議に利用者も出席し生の声を聞いて頂く
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	家族会等の参加もお願いしています。介護相談員月1回利用者の話しを聞いて頂きサービスの向上を目指している	○	家族会に出席されお話をさせて頂いています
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	独居の方がいますので金銭管理をして頂いています	○	実際にお世話になっている方もいます。必要に応じて連絡を取っています
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待をする事は「主権在客」の理念に反する事であり、その人個人を人として受け入れていない事になる。決してしてはならない事なので、日々防止に努めている	○	職員同士のコミュニケーションを計り、細かいことも見過ごさないよう努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に必要な書類の説明を十分に行っています。現在利用している方の様子も見て頂き判断して頂きます	○	利用される時よりも退所時の不安が大きいと思われますので後々までの支援に力を注ぎたい
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情があった場合、内容の確認をし書類を作成します。管理者から施設長へ報告され、利用者及び家族へ結果の報告をしています	○	苦情が出た職員と話し合い反省されない時には退職して頂くこともあります
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	来所時には近況報告をする。電話にて報告や相談をすることもあります	○	日常の様子等写真を撮って見て頂き、最近は家族と一緒に撮り居室に飾らせて頂く
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	13と同じ対応をしています	○	13と同じ対応をしています
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月／1回運営会議、月／1回責任者会議を設けユニット会議で全員に徹底する	○	ユニット会議を設け全員で意見を出したりして決め良い支援作りをする
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入浴日、レクリエーション等によって職員数が必要である日に人数確保する為の調整の努力は日々している	○	状況の変化によって夕刻時に短時間の職員が必要であるが、その部分は完全なる対応となっていないので検討して行かなければならない
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職を考えている場合良く話し合いをし最小限に抑える努力をしています	○	定年を迎えた職員も継続して業務を行い。馴染の関係を保っています

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種の研修を受ける機会を設け実行している	○ 外での研修の他ようざん内での勉強会を設けレベルアップを目指している
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	協議会での活動も参加し同業者との交流を図っている	○ 職員全員が参加できるように(年間で)
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	男性職員1回/月のメンズ会、女性職員は1回/3ヶ月のレディース会を設け、ユニット別で食事会等を行っている	○ ボーリング大会も行った
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	介護力を高めるよう諸々の研修の参加等させて頂いたりしている	○
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	現実には認知症の介護度が高い方が多く、お話を聴く時間をつくり受けとめる努力をしているが、実際の姿行動等とは異なっている	○ 現状を受けとめ、不安や困っている事を受けとめ、日々の関わり、ケアの向上に努めていく。本人の姿を良くとらえる努力をする
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人との信頼関係を築く事は絶対大切な事であると同時に家族との信頼関係を築く事をおこたってしまうと良いケアはできないと思うので機会をつくり努力している	○ 入所されてからも家族等の話しをよく聴き信頼関係を築く努力をしている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	あくまでも利用者と家族の立場に立って話し合いをしています	○	家族や関係者とは常に意見を出し合い話し合いをしています
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族や関係者等の情報の下に本人の様子をみながらサービスの提供をしています	○	日々の暮らしの中で個々の様子を観察し、その人に合った支援をと取り組んでいる
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生での先輩であり、数々の経験をして来た事は色々な場面で力を出され、学ばせて頂いている。自分家族よりも時間を一緒に過ごし、会話をしている時間を大切に日々感じている	○	馴れしたしみの時間の中でとかく介護者は恩きせがましくおごりを持ちがちである。支えられている時を忘れず、年上の方である事を忘れない様に取り組みをしている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族との信頼関係を築き安心してケアをさせて頂けるように努力している	○	双方の意見を尊重しながら出来る限りの支援に努めています
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	双方が心配されるようなことはつつしみ安心して生活ができるよう支援している	○	
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所時新しい品ではなく本人に馴染のある衣類やダンス等を出来るかぎり使ってほしいと依頼する。年賀状や手紙など代筆したり途切れないよう努める	○	昔の話を傾聴し職員全員が利用者のことを良く知る。馴染みの人に会ったりしてもすぐ忘れられることが残念である
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一日の中で仲良く談話されていたのが、ある方が不穏になられたりすると、他の方は落ちつかれず、他の利用者の方にきつい事を言われたりとの場面も見られるので、トラブルの無いよう職員がうまく仲に入り努めなければならない	○	利用者同士、お互いの気持ちを理解できない人が多く世話をしすぎて落ち込み、落ちつかなくなる場面があり悩むところ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	時々連絡を取り状況をお聞きしている	○	退所後病院に入院されている方に会いに行くこともあります
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で気づいた事を話し合い支援できることから実行していく努力をしている	○	例えば一般浴は不可の方の場合、機械浴にて入浴し清潔保持する
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報をできるだけ入れ、その方を多く知ろうと努力はしているが、事前の情報がなかなか入らない時がある、くわしく知る為、関係者と連絡を取るようにしている	○	日常生活の中でわかることも多く会話を多くもつように取り組んでいる
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人のリズム、パターンなどを把握するようにし、対応し、安心、安楽に生活できる様に努めている	○	左に同じ
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ユニット会議でそれぞれの意見を出し、検討しより良いケアで本人が満足できるような作成を目指している	○	利用者の方全員の以前の暮らし背景、現状と、利用者の方は自分達、職員をどうとらえているのか、書き出したりしながら、カンファレンス時に意見をまとめるころみも必要と思われる
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入所されてから、できる事、できない事認知症の進行、身体についての見直しは、カンファレンスで職員より出た意見なども、元にしたりと、作成者だけではなく、職員全員にて取り組んでいる	○	まだまだ把握しきれない要素は沢山あると思われ、現状の本人の変化を見落とさない様、努力は必要であると思われる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に記入、変化があれば家族に報告、職員には申し送りをする。全員で共有支援に努める	○	急変の場合、直し、カンファレンスを設け対応する
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族には常にお話をさせて頂き相談があれば直に全体で話し合いをする	○	グループホームから他ユニットへの支援、本人や家族からの要望があれば実施される。又逆の場合の支援もあります
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	傾聴ボランティア・入浴時のボランティア・レクの慰問ボランティアにお世話になっています	○	消防署の方には火災訓練の他、救急救命AEDの指導も受けています
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	意向や必要性に応じ対応しています	○	長期入院の可能性の高い場合他のケアマネや相談員さんに相談し本人や家族の支援に努めます
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、地域包括支援センターと協働している方がいますが安心して過ごされています	○	独居の方、家族と疎遠の方等には本人の意向や必要性に応じて支援して行く
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回の往診を行う。又は受診に出向く場合もあります	○	家族に依って馴染の医院へ受診される方もいます

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	他ユニットの看護職員の協力も得、支援に取り組む
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	医師や相談員との良い関係を築き、本人、家族の不安をなくしていきたいと努める
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	協力医、ケアマネ、家族と何度も話し合い、本人が一番良い方法(場所)をみつけるよう努める
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	終末期の利用者が安心して日々を暮らせる為にケアの質の向上は必須。かかりつけ医と良い関係を築き取り組んでいきたい
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	1日も早く苑や他者との関係に馴染むようその人に合ったケアをさがしながら支援していく

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	介護の基本と考える職員全体で確認をしている	○ プライバシーの確保は守っています
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が望んでいる生活ができるように支援している	○ 利用者は自由で安心して暮らせるように支援に取り組んでいます
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	9人と少人数でも全体で同じことを行うのは困難です。希望にそった支援に取り組んでいます	○ 個別ケアの充実を図っています
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みの美容室へ行かれる方もいますが他の方は出張理容師を利用されています	○ 左に同じ
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器洗い、拭きなどを日頃手伝って頂いている徘徊され落ちつかない方にテーブルを拭いて頂く事ができるので努めてして頂く様にしている	○ 利用者の様子をみながらお手伝いができそうな場合は一緒にしています
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在は問のようなことを好まれる方はいません	○ 希望があれば支援はします

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	紙パンツ使用の方が多いので排泄チェック表を作り、一人ひとりの排泄パターンをつかみ失敗の軽減に努める	○	見守りや声掛けにより使用を減らすよう支援している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	火・金は入浴日ですが個々の都合で毎日ということもあります	○	機械浴を利用の方もあり、他ユニットのお世話になっています
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の状況に応じ昼寝等も自由にして頂いています	○	昼夜逆転ということもあり様子をみながら個別ケアに取り組んでいます
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	現在の状態に応じ、一人一人が今できる事をして頂いている。洗濯物をたたんで頂いたり、干して頂いている	○	料理や掃除を積極的にして下さり、本人も満足感があるようです
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日常お金は所持していませんが、出掛けた時にほしい物があれば買って頂けるよう支援はいたします	○	お金を所持していますと人に取られた、落とした等の訴え多く不穏の元になり困りました。散歩の時にコンビニに寄って一人ひとり好きな物を買っておやつにすることもあります
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりの希望にそって出掛けることは理想ですが出来ない、しかし何人かでドライブ等はしています。天気の良い日は散歩もしています	○	徘徊が多く不穏な方等はドライブで穏やかになることが多いので実行しています
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族と出掛ける機会をつくり支援しています。家族に会いにお連れすることもあります	○	月に1度は全員でドライブ、外食を行い、季節を感じ気分転換を図っています

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	依頼があれば電話して頂いています。 手紙が届いても書けない人が多く代筆し支援をしている	○	代筆にて手紙のやり取りが出来、先方様が面会に来て下さり再会したことを喜ばれていた例もあります
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	本人も喜ぶますので職員もより良い対応に心掛けています	○	居室にてお話が出来るように声掛けしています
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体に危険がない限り身体拘束をしない方針です	○	ベットの柵ですが二本使用しなくてはベッドに座ったり横になれない方がいますので
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	当施設では利用者の安全確保の為、玄関に鍵をかけています	○	徘徊している方、帰宅願望のある方が多く、玄関の内側の鍵はセンサーで閉めています。外側の鍵はかけないことが多い
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通し見守りを重視している。夜間は巡視をし安全確認をしている	○	徘徊や放尿をしてしまわれる方に注意が行きがちである場合もあり、職員の質の向上に努めていきたい
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	異食をされてしまう方がおられるので、花などは花びんは玄関に、鉢植はウッドデッキにて利用者様が見える場所に置いている	○	薬等はお預かりし安全な場所に保管
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	職員はケア向上に努め、利用者の行動を確認し事故防止に取り組んでいる	○	行方不明等が出ないように玄関の鍵はかけてある

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の方にお世話になり定期的に行っている	○	急変時対応、救急車のようせい方法等明記し備えている
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署職員の見守りの中、年二回避難訓練を実施している	○	近隣の方にも声掛けをし避難訓練に参加して頂く
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所前に家族に説明話し合っている	○	面会に来られた時等近況報告をする中で話させて頂いてます
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	必ず変化などについてはひきつぎ時の申し送りにて対応させて頂いている	○	高齢者の身体は日々変化があるので状態の観察、対応の統一は大切な事であるが、交代勤務のなかで情報をうまく伝える事はむずかしい時もある。ケアの統一を利用者の安心の生活を考え、もっと速やかに対応できる様努力して行きたい
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入所前より服薬により症状が改善されなかったり、眠剤などで逆に不穏などになられ、夜間眠れない場合が何度も見られた時など医師と相談し対応させて頂いている	○	服薬が確認できるまで見守りはしたり、介助をしている。飲み込みの悪い方等にはこれから先医師と相談し錠剤から粉薬にと変えて頂いてと考えている
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	繊維の多い食物を水分の摂取など工夫し、排便の記録をし、一人一人の排便のペースをつかむ努力をしている	○	今のところ下剤などの使用はする事なく生活して頂いているが、腹圧をかける事など、排泄に関しての困難はこれから出てくると思える方が何名もいらっしゃるの、予防、対応等まだできる事をカンファレンスの時間を多く取って行きたい
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケアのできる方には食後声かけをし、して頂き、御自分でできない方には職員が介助させて頂いている。夕食後は義歯洗浄の為、数名の方のをはずし、洗浄後にてあずからせて頂いている	○	できるだけ、御自分と取り組んでいる

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一度に沢山摂取できない方、排泄の関係や既往歴を良く把握し、水分量なども、個別に対応する様になっている。義歯の状態などにも合わせ、摂取の困難な物は(野菜、肉)やわらかく火を通したり、キザんだりとしている	○	その日の体調や気分の状態にもなるべく対応する様、摂取困難な主食は、パンや、麺などに変えたりとしている。食事を楽しく摂取して頂ける様、色、配置にも努力はしているが、介助等に追われまならない時がある
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症対策委員会が発足しました	○	マニュアル作成に取り組んでいます
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	職員の手洗いはトイレ介助後、食事の用意の前など必ず行っており、ふきん等も朝・昼・夕と取りかえて使用している。食材もお肉など日持ちのしないものは、分けて冷凍保存し使っている	○	利用者に喜んで頂けるような食事の提供できるよう全員で取り組んでいきたい
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	毎日、掃除をして季節の花を飾り、利用者の作品等も展示し親しみやすく出入りができるように工夫しています	○	春からは家のまわりの草むしりを利用者と一緒に行っています
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室の壁紙やカーテンの色を変えてあります。トイレは車椅子でも入れるよう広がっています。ウッドデッキでお茶を楽しんだりしています	○	温度、湿度にも注意し健康状態に気を配り、居心地よく過ごせるような工夫をしています
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールが広いので自由に過ごして頂けるように工夫しています	○	明るく清潔な共用空間に心がけ、笑顔のみられる空間にしたい

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンの色、ベッドの向きなど、本人の好みを本人あるいは家族よりお聞きし工夫させて頂いている	○	入所時、家族等に新しい品より、日頃使い慣れた品をと声がけしている
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一日を通し、状況に応じた対応をさせて頂いている	○	換気扇の掃除を定期的に行っています
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	苑内はバリアフリーで手すりもつき安全かつ安心して移動できます。 ウッドデッキを使用し日光浴やお茶を楽しんでいます	○	車椅子でも安全に自由に動きまわれるように工夫されています
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	排泄場所、居室がわからない事が多い方の為に、大きく紙に、トイレ、便所と書いたり目印をつけさせて頂いている。夜間も灯りをとしたりとしている	○	認知の低下により、トイレもしくは便所と書いた目印さえ理解できなくなっており、排泄のサインをとらえ、声かけ、誘導をする様にしている
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	屋根を広く取ったウッドデッキをつけ、洗濯物を一緒に干す事や天気の良い日はお茶を飲んだり活用している	○	利用者にとってもウッドデッキは人気があり、物干しなど手伝って頂いています

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

レクレーションとして慰問が多く利用者は施設内で楽しむことができ喜んでいる（2月は10回）

ようざん一座を結成

毎年、敬老会を開催、利用者、家族、地域の方でにぎわう

感染症対策委員会の発足